

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	スタディスマイル西九条		
○保護者評価実施期間	年 月 日		~ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)
○従業者評価実施期間	r8年 2月 5日		~ r8年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	r8年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースがあり、テーブルゲームや工作などの落ち着いた遊びと、縄跳びやボール遊びなどが同時に行う事ができる。	お互いの遊びや活動の邪魔にならないように、仕切りやパーテーションでくぎり、各活動場所に必ずスタッフを配置している。	安全確保のために物の配置のこまめな確認や、清掃を行う。
2	おもちゃのコインを使用し、買い物体験ができる取り組みを毎日行っている。	自身の欲しい商品と自身の残金で購入できるものを考えたり、計算する能力を高める取り組みを行っている。また、購入できない時に貯金するという意識をつけていく。	買い物をする楽しさを伝えたり、学習することでコインが増える仕組みを利用し、働くという事への理解促進に努めた。
3	ピアノやドラム等の楽器、工作用具、手芸用品などの様々なレクリエーション道具が揃っているため、児童に合わせた活動ができる。	スタッフが必ず付き添い、安全面に配慮しつつ活動している。	用具の充実とともに、スタッフのスキルを向上をはかっている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容が保護者にあまり伝わっていない。	カレンダーや予約表などは作成しているが、それ以外のお知らせプリントなどがあまり配布出来ていない。	連絡帳での報告と共に、イベントや活動の事前報告やプリントさくせいをこまめに行う。
2	児童の安全面について不安な部分がある。	入口の階段で、こけてしまう児童がいる。	階段では児童の下に必ずスタッフが立ち対応できるようにする。設置家具については、コーナーガード等を使用していく。
3	保護者との密接な連携が取れていないことがある。	保護者の中には、電話や面談などで直接接する機会が少ない方もいる。	保護者と直接的な関わりが持てるような機会を多く作っていき、より良い連携をはかれるようにしていく。

## 公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	スタディスマイル西九条				公表日	2026年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		活動によって、空間を使い分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		配置の人数は守られている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		児童帰宅後に、必ず施設全体の清掃及び、消毒を行っている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	児童帰宅後に、必ず施設全体の清掃及び、消毒を行っている。パーテーション付きデスクを使用している。	学習場所と遊んだり活動する場所が近く、集中しづらいときがある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		パーテーションを使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		月一回の研修やミーティングを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	アンケート評価表の集計結果をスタッフ間で共有している。	別途のアンケート等の実施を検討する	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		午前中にミーティングを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	相談員等から、意見や評価を頂くようにしている。	頻度はやや少ない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		定期的に研修やミーティングが行われている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		児童の発達状況や、個別ニーズに応じた支援を提供するため、ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		要望書や電話聞き取りなどでニーズを把握し、計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		必ず全スタッフが関わり会議を行う事で、共通の理解をし、検討を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		ミーティングや会議で共有され、計画に基づいて支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々の療育記録などをスタッフ間で確認し把握に努めている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインに基づいて、支援計画書に適切な項目が記入、設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	定期的にミーティングが行われている。	新しい活動などがあまり増えていかない。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	SNSや本などで新しい活動を取り入れている。	やや固定化されてきている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		平日や休日などの状況に合わせて活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		支援前にミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援後にミーティングを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		療育記録や行動記録の作成を必ず行い、保管している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一度必ず行われている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		保護者の意見を尊重し、必要に応じて連携し支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				児童発達支援の利用が無い為交流なし。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				児童発達支援の利用が無い為交流なし。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				児童発達支援の利用が無い為交流なし。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				児童発達支援の利用が無い為交流なし。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時に直接伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	面談時や別途要望があった際、ご家族等に口頭での情報共有を行っている。	参加しやすい講習会や研修の機会を設けている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		口頭や書面での説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		半年に一度のモニタリングの際に利用児童や、保護者の意向確認が行われている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		半年に一度のモニタリング面談の際、説明の上同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		半年に一度のモニタリング面談の際、相談の受け付けや助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	系列施設との合同イベント等で、きょうだい同士の交流の機会を設けている。	父母の会、保護者会などはほとんど開催できていないため、今後機会を増やしていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		月ごとのイベント、行事カレンダーの新聞を配布している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの場所に保管し十分留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		イラスト等を用いて分かりやすいよう説明を心がけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	お祭りイベントなどを行っている。	さらに機会を増やしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアル作成とともに、児童含めた訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年2回の災害避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		面談時や電話等で保護者に随時確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者に確認をとり、個別に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		計画の作成、管理が行われている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に口頭と書面両方で説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ミーティングや会議で共有され、対策を考えている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的な研修が行われている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		契約時に口頭と書面両方で説明している。		

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタディスマイル西九条		
○保護者評価実施期間	r8年 2月 5日		~ r8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	r8年 2月 5日		~ r8年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	r8年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースがあり、テーブルゲームや工作などの落ち着いた遊びと、縄跳びやボール遊びなどが同時に行う事ができる。	お互いの遊びや活動の邪魔にならないように、仕切りやパーテーションでくぎり、各活動場所に必ずスタッフを配置している。	安全確保のために物の配置のこまめな確認や、清掃を行う。
2	おもちゃのコインを使用し、買い物体験ができる取り組みを毎日行っている。	自身の欲しい商品と自身の残金で購入できるものを考えたり、計算する能力を高める取り組みを行っている。また、購入できない時に貯金するという意識をつけていく。	買い物をする楽しさを伝えたり、学習することでコインが増える仕組みを利用し、働くという事への理解促進に努めた。
3	専門的なスキルを持ったスタッフによる学習支援。	夏休み期間の夏期講習や、個別対応方式の学習支援を行っている。	今後はタブレット学習なども取り込み、さらに充実した学習支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容が保護者にあまり伝わっていない。	カレンダーや予約表などは作成しているが、それ以外のお知らせプリントなどがあまり配布出来ない。	連絡帳での報告と共に、イベントや活動の事前報告やプリントさくせいをこまめに行う。
2	児童の安全面について不安な部分がある。	入口の階段で、こけてしまう児童がいる。	階段では児童の下に必ずスタッフが立ち対応できるようにする。設置家具については、コーナーガード等を使用していく。
3	保護者との密接な連携が取れていないことがある。	保護者の中には、電話や面談などで直接接する機会が少ない方もいる。	保護者と直接的な関わりが持てるような機会を多く作っていく、より良い連携をはかれるようにしていく。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 スタディスマイル西九条

公表日 2026年 3月 4日

利用児童数 24

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0	十分に広くて安心です。	継続してスペース確保に努める。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	2	十分だと思います。	保護者に分かりやすいよう配置の周知を行う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	0	0	0		こまめな清掃、消毒を継続していく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0		計画に基づいて支援を行っていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		今後もニーズの聞き取りをしっかりと行っていく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0		ガイドラインに沿って、具体的な支援内容を設定している。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	2	スマイル新聞で活動プログラムを知らせてくれるのでとても助かっています。	やや固定化されているものもあるため、今後SNSや書籍等を活用し新しい活動を取り入れていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	0	0	5	公園遊びの時に機会があれば、一緒に遊べる様になれば嬉しい。	月に数回公園遊びを行い、地域のこどもたちと関わる機会を設けている。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0		契約時に口頭と書面によって説明を行っている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	0	0		半年に一度の面談時に口頭と書面によって説明を行っている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	1	3	今後開催するなら参加したいです。	現在は行われていないが、今後実施を検討していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	0	相談させてもらっています。三か月ごとの通院に付き添ってもらっています。	連絡帳や、電話連絡の際に情報共有を行っている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	0	0	本当に色んな話を聞いてくださり、助けられています。	主に面談時に行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	0	1	11		系列施設と連携してきょうだい同士の交流や支援を行っている。保護者会などは今後検討していく。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	2	いつも娘の様子を細かく伝えてくださり、連絡帳では分からないことは送迎時に直接説明して下さるので安心しています。	連絡帳や電話等で相談対応を行っているが、より分かりやすく周知していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		連絡帳や電話、イラストなど様々なツールを使用している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	3		行われているが、今後より積極的に行っていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	0		十分に留意しているが、より一層の留意を行っていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	6		定期的にマニュアル作成し、訓練を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	0	7		年に二回、避難訓練が行われている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	2		定期的に施設内や周辺の安全確認を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	2		契約時に口頭と書面によって説明を行っている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0	毎回楽しみにしています。前日には「明日スマイルの日だね」と確認してきてくれます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0	毎回色々なプログラムを考えてくださり感謝しています。	

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		スタディスマイル西九条				公表日	2026年 3月 4日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		活動によって、空間を使い分けている。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		配置の人数は守られている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		児童帰宅後に、必ず施設全体の清掃及び、消毒を行っている				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	児童帰宅後に、必ず施設全体の清掃及び、消毒を行っている。パーティション付きデスクを使用している。	学習場所と遊んだり活動する場所が近く、集中しづらいときがある。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		パーティションを使用している。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		月一回の研修やミーティングを行っている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	アンケート評価表の集計結果をスタッフ間で共有している。	別途のアンケート等の実施を検討する			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		午前中にミーティングを行っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	相談員等から、意見や評価を頂くようにしている。	頻度はやや少ない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		定期的に研修やミーティングが行われている。				
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		児童の発達状況や、個別ニーズに応じた支援を提供するため、ホームページにて公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		要望書や電話聞き取りなどでニーズを把握し、計画を作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		必ず全スタッフが関わり会議を行う事で、共通の理解をし、検討を行っている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		ミーティングや会議で共有され、計画に基づいて支援を行っている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々の療育記録などをスタッフ間で確認し把握に努めている。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインに基づいて、支援計画書に適切な項目が記入、設定されている。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	定期的にミーティングが行われている。	新しい活動などがあまり増えていかない。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	SNSや本などで新しい活動を取り入れている。	やや固定化されてきている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		平日や休日などの状況に合わせて活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		支援前にミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援後にミーティングを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		療育記録や行動記録の作成を必ず行い、保管している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一度必ず行われている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		計画書に基づきバランスよく組み合わせで行われている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		支援計画書の中に織り込み、サポートできるよう取り組んでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		保護者の意見を尊重し、必要に応じて連携し支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		電話や、メール等で、連絡を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		紙面での記録で情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		紙面等で、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	8	今後、機会があれば検討する。	今のところ行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	1	公園遊びなどで地域の子とも達と関わる機会がある。	機会は少ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	このはな子ども部会に参加している。	回数が少ない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時に直接伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	面談時や別途要望があった際、ご家族等に口頭での情報共有を行っている。	参加しやすい講習会や研修の機会を設けている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		口頭や書面での説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		半年に一度のモニタリングの際に利用児童や、保護者の意向確認が行われている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		半年に一度のモニタリング面談の際、説明の上同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		半年に一度のモニタリング面談の際、相談の受け付けや助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	系列施設との合同イベント等で、きょうだい同士の交流の機会を設けている。	父母の会、保護者会などはほとんど開催できていないため、今後機会を増やしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		月ごとのイベント、行事カレンダーの新聞を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの場所に保管し十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		イラスト等を用いて分かりやすいよう説明を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	お祭りイベントなどを行っている。	さらに機会を増やしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアル作成とともに、児童含めた訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年2回の災害避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		面談時や電話等で保護者に随時確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者に確認をとり、個別に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		計画の作成、管理が行われている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に口頭と書面両方で説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ミーティングや会議で共有され、対策を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的な研修が行われている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		契約時に口頭と書面両方で説明している。		